

子供たちは寒さに負けず、元気に遊んでいます。今年もすでに様々な感染症が流行しています。おうちでも、うがい、手洗い、咳エチケットに気を付けて過ごしていきましょう。また、風邪をひいている子が多く見られますが、ひき始めに無理をすると、こじらせるもとになり、治りかけに無理をすると、ぶり返す原因になります。早めに病院を受診し、休養をとるようにしましょう。

11月の感染者情報

●手足口病…28人 ●胃腸炎(下痢含む)…13人 ●発熱…15人 ●風邪(咳、鼻水含む)…15人

目安を守って、元気に登園しよう

現在、小さいクラスを中心に下痢の症状を中心とした胃腸炎が流行っています。熱や嘔吐、下痢などからの病み上がりは、家では元気でも、園で長時間過ごすまでには回復していないことはよくあります。実際に、朝は熱が無かった、自宅では軟便だった等の確認が出来ていても、園に来てみると熱があった、下痢がでたと言う事がよく起こっています。そんな時期に無理をすると、ぶり返してかえって長引くおそれがあるので、登園再開の目安を守って、しっかり回復する時間をとってください。

☆☆4月に配布している「園のしおり」にも明記してある通り、**基本的に37.5℃以上の発熱が見られた際には保護者の方へお迎えのお願いの連絡を入れています**。小さい子のクラス程、家に帰ったら熱がありませんでした、という事が時折みられますが、体温調節機能が未熟である、疲れが出ている、病気の始まりである等、様々な要因が考えられます。保育園は集団生活の場になります。園でも玩具の消毒等十分に気を付けておりますが、感染拡大防止の為に**24時間の様子観察**をお願い致します。

☆☆**下痢について、便秘の子で中々便自体が出なくて確認できませんという声を聞きます。基本的には普通便が確認出来てからの登園ですが、便秘で確認できない場合のみ24時間経過しても便が出なければ登園可能です。**



健康に気をつけて、よい年を迎えましょう

年末年始は帰省や大掃除、おせち料理にお参り……とあわただしいもの。健康に気をつけて、元気に新年を迎えましょう。



ごちそうはひと工夫で楽しんで

お祝いムードで気がゆるむ時期ですが、子どもの誤飲・窒息には十分注意しましょう。

お酒の誤飲

透明なので水と間違えた、甘いのでジュースのつもりで飲んでしまった……などの事故が起こりやすいので、グラスやおちょこは子どもの手の届かないところに。

もちや豆類による窒息

お正月の定番のお雑煮(もち)や黒豆(豆類)は窒息の危険が高い食べ物。もちは小さく切って1つずつ、汁物といっしょに食べさせます。豆類は刻むか、子どもには控えましょう。



生活リズムに気をつけて

ゆっくりしたい時期なので、夜更かし・朝寝坊になりがち。睡眠不足にならないよう、生活リズムを守りましょう。

急病に備えよう

地域の休日診療・救急診療の担当を確認しておきましょう。帰省先・旅行先でも調べておくと安心です。また、保険証や医療証も忘れずに持っていきましょう。